

男女がともに輝ける社会へ

一人ひとりがいきいきと輝く豊かな社会を築いていくためには、
どのようにすればよいのでしょうか？
それを解くカギの一つが「男女共同参画社会」の実現です



■男女共同参画社会とは？

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、
その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことです

男女共同参画社会の定義(男女共同参画社会基本法 第2条)

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会

会津若松市の取り組み

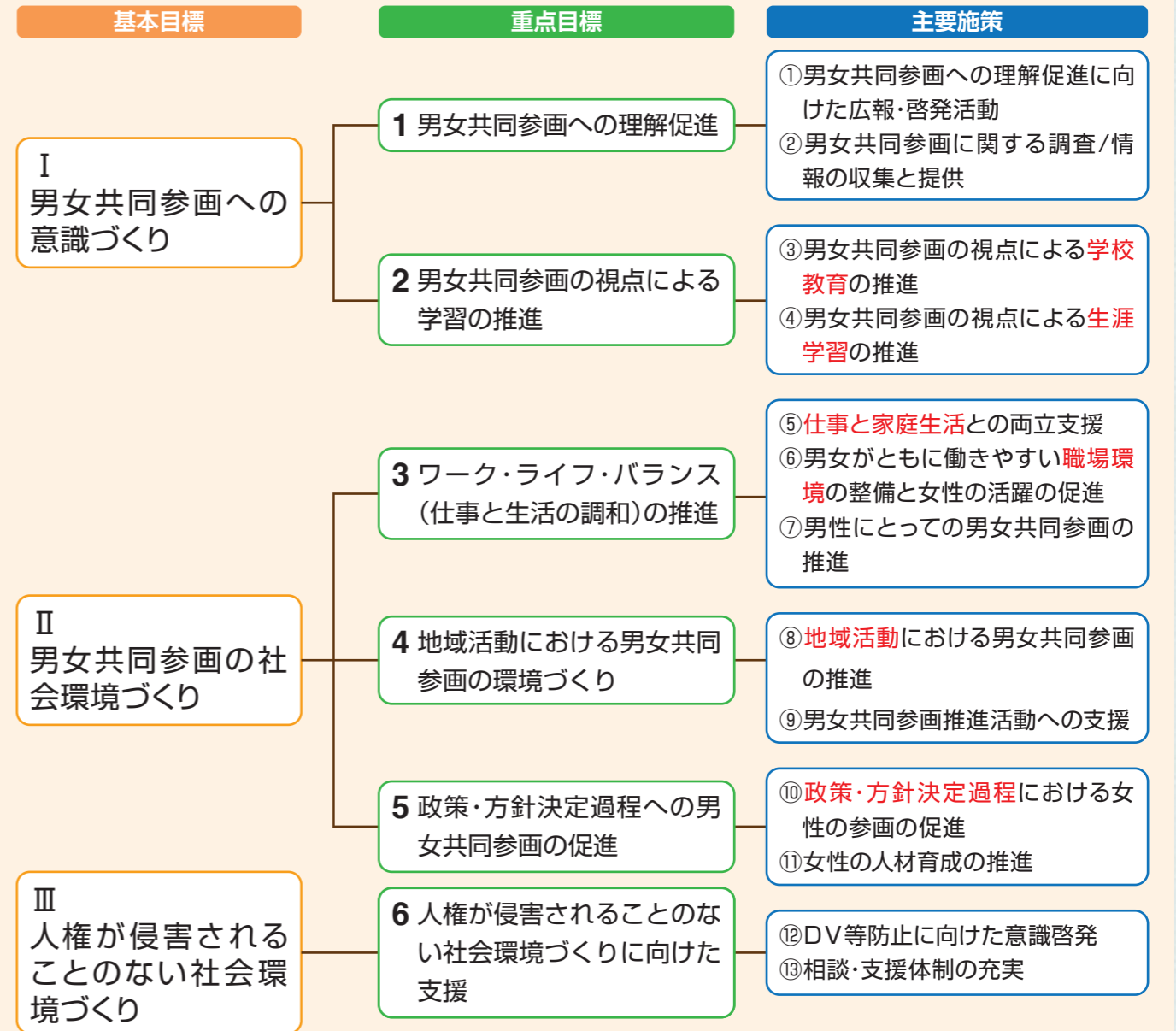
会津若松市では、男女共同参画社会を実現するための基本となる
理念や施策を盛り込んだ計画を策定しています

第4次会津若松市男女共同参画推進プラン

(計画期間 平成26年度～平成30年度)

基本理念 男女がともに認め合い、思いやり、一人ひとりが輝く社会を目指して

計画の体系



このパンフレットはボランティア編集委員のご協力により作成しました

編集委員：皆川久美子さん 林 貞通さん

発行：平成26年4月1日

会津若松市企画政策部協働・男女参画室

〒965-8601 会津若松市東栄町3番46号 電話：0242-39-1405 ファクス：0242-39-1400
会津若松市ホームページアドレス <http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/>



男女共同参画社会を実現するためには？

市では、次の3つのテーマにより男女共同参画社会実現に向けて取り組んでいます

① 性別によって役割を分担する(させられる)意識の解消

■個人の生き方や人生の選択などが制限されてしまう固定的な性別役割分担意識をなくしていくための取り組み



人権が尊重され、各々の個性や能力を生かすことができる

- 男女が個人として能力を発揮することができる
- 自らの希望に沿った形で活動ができる

② 「仕事と生活の調和」(ワーク・ライフ・バランス)の推進

■男女ともに働きやすい職場づくりへの取り組み
■家事や育児・介護など家族がともに協力し合う取り組み



仕事や家庭生活、地域活動などさまざまな活動が両立できる

働く側・雇用する側のそれぞれが仕事の仕方、家庭での家事・育児・介護などへのかわり方を見直すことで、心身ともに健康で充実した生活を送ることができる

③ 男女の社会参画を応援

■男性も女性も社会参画しやすくなるよう応援する取り組み



男女があらゆる場に参加・参画できる

政治や職場などの政策・方針決定過程への女性の参画が進み、また男女がともに主体的に地域活動などに参加・参画することで、男女それぞれの視点や能力が生かされ、調和のとれた活力ある社会づくりができる



男女がともに認め合い、思いやり、
一人ひとりが輝く社会へ

仕事、家庭、地域活動など、多様な活動を自らの希望に沿った形で展開でき、
男女がともに夢や希望を実現

男女共同参画社会って、なぜ必要なの？

■性別の違いでこんなことを感じたり見たりしたことはありませんか？

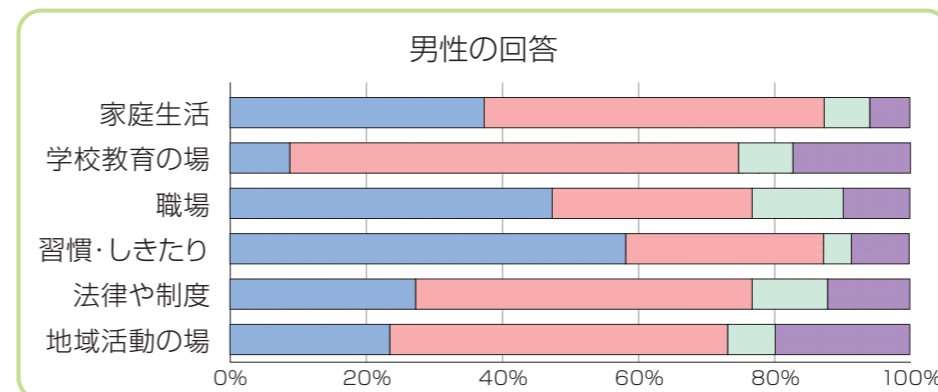


～市民ワークショップ(平成25年度開催)では次のような意見が出されました～

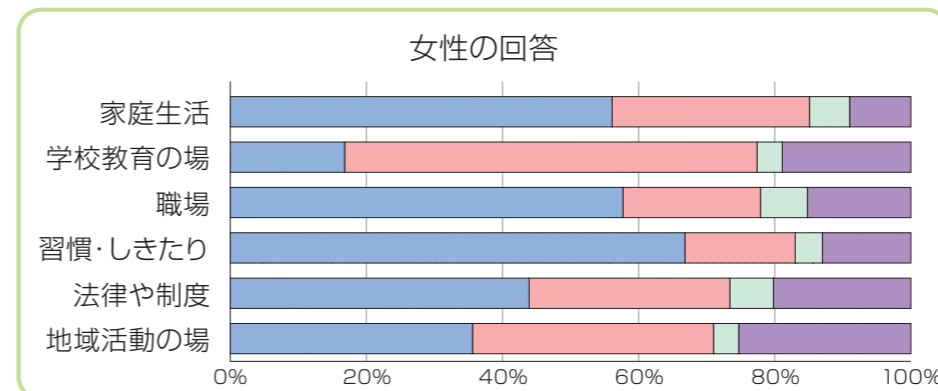
- お茶だしは女性がするものという空気がある
- 女性議員が少なく、女性の声がとりにくい
- 育児休業を取れるのは女性が多い
- 男性は育児休暇や介護休暇が取れない職場環境がある
- 女性が正社員になれる職場がなかなかない
- 地域の行事は男性が主で、女性は家事、育児で参加しにくい
- 夫婦の呼び方(嫁・家内・主人)ってどうかな
- 育児や介護は女性だけ？
- 女性だけに家事をしと言われる
- 男性と女性の賃金に差がある
- 既婚女性の雇用機会が少ない
- PTAの会長は男性が多いが、行事役員などは女性が多い
- 介護の介助は女性に多くの時間が向けられている
- お父さんは仕事が忙しい

■それでは、市民の皆さんはどう感じているのでしょうか？

～平成24年度市民意識調査結果「男女の地位の平等感」より～



男女ともに依然として「男性の方が優遇されている」と感じている人が多いようです



■男性が優遇されている(計)* ■平等である ■女性が優遇されている(計)* ■わからない、無回答
※(計)は「優遇されている・どちらかといえば優遇されている」の合計

■男性、女性ともに家庭や職場など様々な場面で、男女の置かれた状況の違いを感じているようです

■会津若松市では、性別にかかわらず、だれもが一人の人間として尊重され、その個性や能力を十分に発揮することができる社会を目指しています